

【家庭教育支援チーム】

(1) 活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	燕市家庭教育支援チーム (呼称: ふわりん子育てセミナー)
②活動拠点	燕勤労者総合福祉センター「あおぞら」
③活動範囲	燕市内
④組織体制	35人 生活倫理相談士 8人 元保育士 3名 民生委員 1名 元民生委員1名 保護司 1人 公民館長 1人 自治会長 1人 市議会議員 1人 県議会議員 1人 セミナーサポーター 6人 ママサポーター 10人 教員 1人
⑤活動開始年度	平成18年度
⑥問合せ先	(部署・氏名等)小林 友花 (TEL)090-4050-9618 (E-mail)kira.kirakoba9625@gmail.com

(2) 活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者への学びの場の提供 <input type="checkbox"/> 地域の居場所づくり <input type="checkbox"/> 訪問型家庭教育支援 <input type="checkbox"/> その他()
②活動対象	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児 <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(低学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(中学年) <input checked="" type="checkbox"/> 小学生(高学年) <input checked="" type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以上 の子供を持つ保護者に対する活動を実施
③活動内容	【具体的な活動内容】 ・「ふわりん子育てセミナー」の開催 セミナーは、公共の場をお借りして燕市で開催しています。燕市の広報紙に掲載したり、公の場所にチラシを配布しています。対象は、妊婦さんから子育て中の保護者で、テーマは、毎回変えています。(子育てに関することをテーマにしています) 講師をお呼びしてテーマに沿った講話や、初対面の保護者同士での悩みの共有、子育てのことを話し合う時間を設け、その後講師に直接話し合いで出た質問、疑問を答えていきます。 セミナー内で個人相談もできます。



・子供倫理塾の開催

こちらは子供がメインで、「遊び」「まなび」「しつけ」を三本柱に、子供たちが楽しめる企画。具体的には短歌や習字やかるた大会や子ども作文、お菓子作りなどで楽しむ中で、あいさつや返事、後片付けや物の大切さ、食べ物への感謝の気持ちなどを自然に身に付けていきます。保護者も一緒に参加可能。出来るだけ子供の自主性をのばせるよう見守りながら参加をいただいています。



④活動の成果

(活動実績がある
場合)

・「ふわりん子育てセミナー」では、参加者した方々が、「そう考えればいいんだ」「話して、話を聞いてスッキリした」という感想が多く、「また来ます」と笑顔で帰られます。また、実際に講義で聞いたことを実践し「今まで私の話を聞かなかった子供が話を聞いてくれるようになった」というお母さんもいました。

・「子供倫理塾」では遊びながら学ぶことで、今まで人前に出ようとしなかった子供が、積極的になり自ら進んで手を挙げて役割(毎回、進行、挨拶、食前食後の挨拶)をやってくれるようになりました。食べ物への感謝の気持ちや後片付けや挨拶や返事を身につけていきます。

⑤活動財源

- 文部科学省補助事業(事業名:)
- 文部科学省委託事業(事業名:)
- 厚生労働省事業(事業名:)
- 地方公共団体単独事業として実施
- 特段の予算措置はない(自主的に活動を実施)
- その他の支援により活動を実施
(家庭倫理の会燕市から予算を組んでいただいで活動しています)